

科目名	World Cinema・Fashion・Legends	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			国際学科	□ 必修	■ 選択
			学科	□ 必修	□ 選択
英文表記	World Cinema / Fashion / Legends	開講年次	□ 1年 ■ 2年 □ 3年 □ 4年		
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	はんだ さちこ	実務家教員担当科目		修得単位	2 単位
担当者名	半田 幸子	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	近代以降の西洋において大衆文化として発展した映画およびファッションの歴史について学ぶことで、国際的な常識および教養を身につける。				
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。 1. 映画の歴史に関する基礎的知識、および文化や芸術を理解する力。 2. 近代以降の服飾文化の歴史に関する基礎的知識、およびその諸相を理解する力。 3. 以上を理解し、俯瞰で考えることで獲得できるグローバルな視野および教養				
授業概要	授業では、近代以降の西洋で誕生し世界に広まった大衆文化および文化現象である映画および近代以降の服飾の歴史について学び、西洋が世界あるいは日本へ与えた影響について考えます。それらの関連性について考えることで、思考力や考察力を養います。				
授業計画 (以下の計画は、授業の進捗状況および受講者の学習状況によっては変更することがあります。)					
第1回	ガイダンス (授業概要説明) (The Guidance)				
第2回	映画の誕生と創成期 (The Birth and the Beginning of Cinema)				
第3回	サイレント映画からトーキー映画へ (From Silent to Talkie)				
第4回	ハリウッド黄金期 (The Golden Age of Hollywood)				
第5回	ヌーヴェルヴァーグの時代 (1) フランスを中心とする概要 (New Wave of French Cinema: Nouvelle Vague)				
第6回	ヌーヴェルヴァーグの時代 (2) チェコ・ヌーヴェルヴァーグに焦点を当てて (Czech New Wave: Česká nová vlna)				
第7回	1950年代の日本映画黄金期のレジェンド (1): 世界の黒澤 (The Legend of Japanese Film Directors: Akira Kurosawa)				
第8回	1950年代の日本映画黄金期のレジェンド (2): 世界の小津 (The Legend of Japanese Film Directors: Yasujiro Ozu)				
第9回	現代服の誕生とデザイナー (ポワレ、ヴィオネ、シャネル等) (1920年代) (The birth of Modern Fashion and Fashion Designers)				
第10回	ファッション界のレジェンド: ココ・シャネル (1) 映画鑑賞 (前半) + 解説 (人物紹介) (The Legend in Fashion History: Coco Chanel (1), Her Biography)				
第11回	ファッション界のレジェンド: ココ・シャネル (2) 映画鑑賞 (後半) + 解説 (時代背景と革新性) (The Legend in Fashion History: Coco Chanel (2), Historical Background and Innovation)				
第12回	服飾とライフスタイル (1920-1940年代) (Fashion and Lifestyle)				
第13回	現代のファッション (1950年代以降) (Modern Fashion: 1950-)				
第14回	映画におけるファッション (Fashion in Cinema)				
第15回	ファッションにおける映画、および総括 (Cinema in Fashion, and Conclusion)				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	1. 授業で扱う箇所に関して事前に調べ、基礎知識をノートにまとめておいてください。(週 1.5 時間程度) 2. 授業後に、該当箇所を改めて読み直してノートにまとめ、理解を深めてください。(週 1.5 時間程度) 3. 日頃から、授業に関連のある文献を読み、知識を増やす思考を深めてください。(週 1 時間程度)				
履修条件 受講のルール	<受講上のルール> ・授業後の復習の習慣を身につけてください。 ・授業中の私語など、周囲の迷惑になる行為は謹んでください。				
テキスト	授業中にプリントを配布します。				
参考文献・資料	授業中に適宜、紹介します。				

成績評価の方法	<p>【授業への取り組み（50%）、定期試験（50%）】 上記評価項目をもとにして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・毎回の授業後に課すコメントシート提出の有無や内容の充実度は授業への取り組みの評価に含みます。 ・授業の理解、および予習復習が十分であることを確認するため、学期ごとに3回の小テストを行います。 <p>※ 出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	<p>毎週月曜日・水曜日 15:00～ ※これ以外の時間・曜日は、事前に予約をとってください。</p>
成績評価基準	<p>秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p>
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	<p>文化は人々の営みであり、人々の生活すべてに関わるものです。この授業では西洋を中心としますが、世界における日本の存在にも目を向けます。現代のグローバル社会を考える上で、欠かすことのできない西洋の文化の一端を学び、国際的な知識および教養を身につけ、国際的な視野を獲得しましょう。広いテーマではありますが、いずれのテーマも西洋の人々に関わる際には、常識として抑えておく必要のあるものです。また、それぞれ一つひとつをじっくり検討し、点と点を線でつないでいくことで、さらに学びが深まります。15回の授業を通して、物事をさまざまな視点から捉える視座を身につけましょう。</p>